| 写真番号 | ⑧－7 | 損傷の種類 | ⑧ 漏水･遊離石灰 | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 主 桁 | 損 傷 程 度 | e | |

他の損傷との関係
⑥ひびわれ

メモ
PC主桁のひびわれから著しい漏水や遊離石灰が生じている。

| 写真番号 | ⑧－8 | 損傷の種類 | ⑧ 漏水･遊離石灰 | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 主 桁 | 損 傷 程 度 | e | |

他の損傷との関係
⑥ひびわれ

メモ
PC主桁のシースに沿ったひびわれから著しい漏水や遊離石灰が生じている。

| 写真番号 | ⑧－9 | 損傷の種類 | ⑧ 漏水･遊離石灰 | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 主 桁 | 損 傷 程 度 | e | |

他の損傷との関係

メモ
PC床版橋の間詰め部から著しい遊離石灰が生じている。

## ⑨ 抜け落ち

| 写真番号 | ⑨－1 | 損傷の種類 | ⑨ 抜け落ち | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 床 版 | 損 傷 程 度 | e | |
| 他の損傷との関係 | | | | |
| メモ<br>RC床版コンクリート塊が抜け落ちている。 | | | | |

## ⑩ コンクリート補強材の損傷

| 写真番号 | ⑩－1 | 損傷の種類 | ⑩ｺﾝｸﾘｰﾄ補強材の損傷 | 分類1：鋼板 |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 床 版 | 損 傷 程 度 | c | |

他の損傷との関係

メモ
RC床版の補強鋼板の接合部から漏水、錆が見られるが、うきは生じていない。

| 写真番号 | ⑩－2 | 損傷の種類 | ⑩ｺﾝｸﾘｰﾄ補強材の損傷 | 分類1：鋼板 |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 床 版 | 損 傷 程 度 | c | |

他の損傷との関係

メモ
RC床版の補強鋼板に錆、漏水が見られるが、うきは生じていない。

| 写真番号 | ⑩－3 | 損傷の種類 | ⑩ｺﾝｸﾘｰﾄ補強材の損傷 | 分類1：鋼板 |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 床 版 | 損 傷 程 度 | c | |

他の損傷との関係

メモ
RC床版の補強鋼板に漏水が見られ、鋼板全体に錆が発生しているが、うきは生じていない。

| 写真番号 | ⑩－4 | 損傷の種類 | ⑩ｺﾝｸﾘｰﾄ補強材の損傷 | 分類1：鋼板 |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 主 桁 | 損 傷 程 度 | c | |

他の損傷との関係

メモ
RC主桁の補強鋼板接合部から漏水、錆が見られるが、うきは発生していない。

| 写真番号 | ⑩－5 | 損傷の種類 | ⑩ｺﾝｸﾘｰﾄ補強材の損傷 | 分類1：鋼板 |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 主 桁 | 損 傷 程 度 | e | |

他の損傷との関係

メモ
RC主桁の補強鋼板に著しいうきが発生している。

| 写真番号 | ⑩－6 | 損傷の種類 | ⑩ｺﾝｸﾘｰﾄ補強材の損傷 | 分類4：塗装 |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 横 桁 | 損 傷 程 度 | e | |

他の損傷との関係

メモ
PC横桁を被覆している塗装に著しいふくれやひびわれが生じ、一部に錆汁も見られる。

## ⑪ 床版ひびわれ

| 写真番号 | ⑪－１ | 損傷の種類 | ⑪ 床版ひびわれ | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 床 版 | 損 傷 程 度 | b | |

他の損傷との関係
⑧漏水･遊離石灰

メモ
一方向ひびわれが主で格子状ではない。ひびわれ間隔は 0.5m 程度であり、ひびわれ幅は 0.1mm 以下が主である（ﾍｱｰｸﾗｯｸもﾁｮｰｷﾝｸﾞしている）。

| 写真番号 | ⑪－２ | 損傷の種類 | ⑪ 床版ひびわれ | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 床 版 | 損 傷 程 度 | b | |

他の損傷との関係
⑧漏水･遊離石灰

メモ
一方向ひびわれが主である。ひびわれ間隔は 1.0～0.5m 程度、ひびわれ幅は 0.1mm 以下が主で一部に 0.1mm 以上も存在する。

| 写真番号 | ⑪－３ | 損傷の種類 | ⑪ 床版ひびわれ | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 床 版 | 損 傷 程 度 | c | |

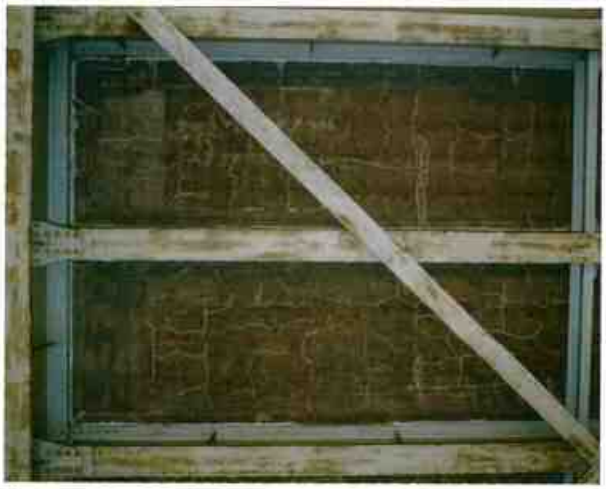
他の損傷との関係
⑧漏水･遊離石灰

メモ
格子状直前のひびわれが生じている。ひびわれ間隔は 0.5m 程度、ひびわれ幅は 0.2mm 以下が主であり、一部に 0.2mm 以上も存在する。

| 写真番号 | ⑪－4 | 損傷の種類 | ⑪ 床版ひびわれ | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 床 版 | 損 傷 程 度 | c | |

他の損傷との関係
⑧漏水･遊離石灰

メモ
格子状のひびわれになってきている。ひびわれ間隔は0.5m 程度、ひびわれ幅は0.2mm 以下が主であり、一部に0.2mm 以上も存在する（チョーキングしている）。



| 写真番号 | ⑪－5 | 損傷の種類 | ⑪ 床版ひびわれ | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 床 版 | 損 傷 程 度 | d | |

他の損傷との関係
⑧漏水･遊離石灰

メモ
格子状のひびわれである。ひびわれ間隔は 0.5～0.2m であり、ひびわれ幅は0.2mm 以上が目立つ（チョーキングしている）。

| 写真番号 | ⑪－6 | 損傷の種類 | ⑪ 床版ひびわれ | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 床 版 | 損 傷 程 度 | d | |

他の損傷との関係
⑧漏水･遊離石灰

メモ
格子状のひびわれが生じている。ひびわれ間隔は0.5～0.2m、ひびわれ幅は0.2mm 以上が目立ち部分的な角落ちも見られる。

## ⑫ う き

| 写真番号 | ⑫－1 | 損傷の種類 | ⑫ う き | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 主 桁 | 損 傷 程 度 | e | |

他の損傷との関係
⑦剥離・鉄筋露出

メモ
PC主桁の側面にうきが見られる。

| 写真番号 | ⑫－2 | 損傷の種類 | ⑫ う き | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 床 版 | 損 傷 程 度 | e | |

他の損傷との関係
⑦剥離・鉄筋露出

メモ
RC床版の下面にうきが見られる。

| 写真番号 | ⑫－3 | 損傷の種類 | ⑫ う き | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 沓座モルタル | 損 傷 程 度 | e | |

他の損傷との関係
㉓変形・欠損

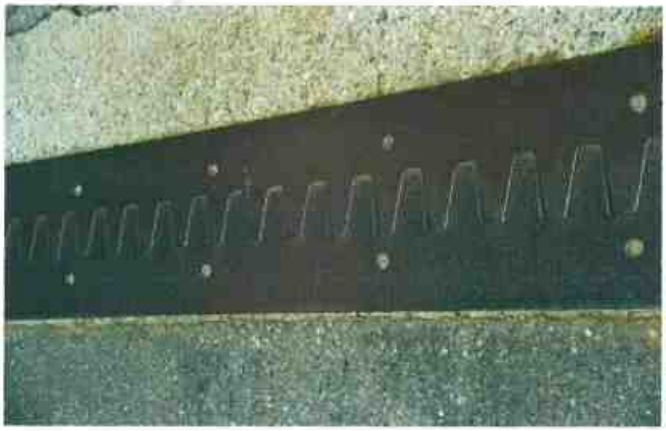
メモ
沓座モルタルにうきが発生している。

## 4. その他の損傷

### ⑬ 遊間の異常

| 写真番号 | ⑬－1 | 損傷の種類 | ⑬ 遊間の異常 | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 伸縮装置 | 損 傷 程 度 | e | |

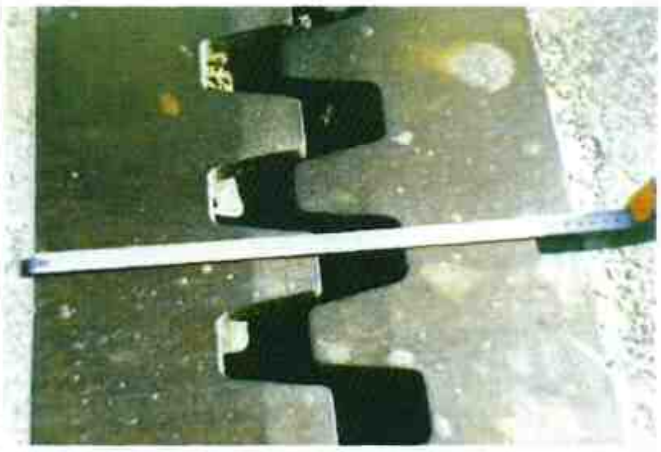
他の損傷との関係
㉕沈下･移動･傾斜
（下部工、支承）



メモ
くしの歯が完全に接触している。
主桁に軸力が作用している疑いがある。

| 写真番号 | ⑬－2 | 損傷の種類 | ⑬ 遊間の異常 | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 伸縮装置 | 損 傷 程 度 | e | |

他の損傷との関係
㉕沈下･移動･傾斜
（下部工、支承）



メモ
くしの歯が完全に離れている。

| 写真番号 | ⑬－3 | 損傷の種類 | ⑬ 遊間の異常 | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 伸縮装置 | 損 傷 程 度 | e | |

他の損傷との関係
㉓変形･欠損
（地覆）

メモ
地覆同士が接触し、地覆コンクリートの一部が圧壊している。

| 写真番号 | ⑬－4 | 損傷の種類 | ⑬ 遊間の異常 | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 伸縮装置 | 損 傷 程 度 | e | |

他の損傷との関係
㉕沈下･移動･傾斜
（下部工、支承）

メモ
桁とパラペットが接触している。
主桁に軸力が作用している疑いがある。

| 写真番号 | ⑬－5 | 損傷の種類 | ⑬ 遊間の異常 | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 支承本体 | 損 傷 程 度 | e | |

他の損傷との関係
⑯支承の機能障害
㉕沈下･移動･傾斜
（橋台）

メモ
支承の移動状態に著しい偏りが生じている。
主桁とパラペットが接触している。主桁に軸力が作用している疑いがある

| 写真番号 | ⑬－6 | 損傷の種類 | ⑬ 遊間の異常 | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 落橋防止ｼｽﾃﾑ | 損 傷 程 度 | e | |

他の損傷との関係

メモ
落橋防止装置の移動状態に偏りがある。
連結板が湾曲している。

## ⑭ 路面の凹凸

| 写真番号 | ⑭－1 | 損傷の種類 | ⑭ 路面の凹凸 | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 伸縮装置 | 損 傷 程 度 | c | |

他の損傷との関係
㉕沈下・移動・傾斜（橋台、支承）

メモ
伸縮装置の段差量が小さい（20mm 以下）。

| 写真番号 | ⑭－2 | 損傷の種類 | ⑭ 路面の凹凸 | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 伸縮装置 | 損 傷 程 度 | e | |

他の損傷との関係

メモ
伸縮装置の段差量が大きい（20mm 以上）。

| 写真番号 | ⑭－3 | 損傷の種類 | ⑭ 路面の凹凸 | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 舗 装 | 損 傷 程 度 | e | |

他の損傷との関係

メモ
伸縮装置前後の舗装が大きくえぐられ段差が生じている（20 ㎜以上）。

## ⑮ 舗装の異常

| 写真番号 | ⑮－1 | 損傷の種類 | ⑮ 舗装の異常 | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 舗 装 | 損 傷 程 度 | e | |

他の損傷との関係
②亀裂（鋼床版）
⑪床版ひびわれ
（RC床版）

メモ
亀甲状のひびわれが生じており、ひびわれ幅が 5mm 以上である。

| 写真番号 | ⑮－2 | 損傷の種類 | ⑮ 舗装の異常 | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 舗 装 | 損 傷 程 度 | e | |

他の損傷との関係
②亀裂（鋼床版）
⑪床版ひびわれ
（RC床版）

メモ
舗装のひびわれ幅が 5mm 以上である。

## ⑯ 支承の機能障害

| 写真番号 | ⑯－1 | 損傷の種類 | ⑯ 支承の機能障害 | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 支承本体 | 損 傷 程 度 | e | |

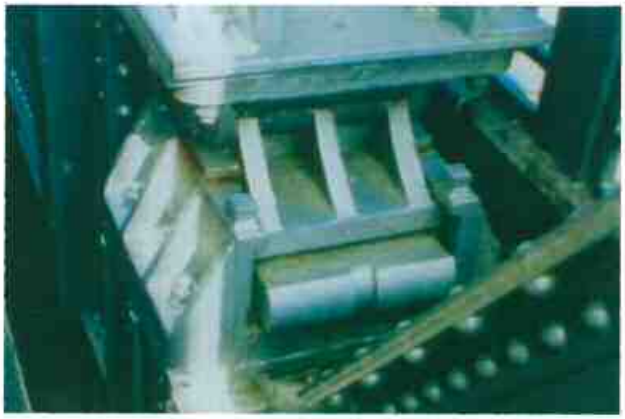
他の損傷との関係

メモ
ローラー支承のローラーが脱落している。
荷重支持、変位追随機能が損なわれている。

| 写真番号 | ⑯－2 | 損傷の種類 | ⑯ 支承の機能障害 | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 支承本体 | 損 傷 程 度 | e | |

他の損傷との関係

メモ
ロッカー支承のロッカー部分が転倒している。
荷重支持、変位追随機能が損なわれている。



| 写真番号 | ⑯－3 | 損傷の種類 | ⑯ 支承の機能障害 | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 支承本体 | 損 傷 程 度 | e | |

他の損傷との関係

メモ
ゲルバー部の可動支承が片側に寄っている。
変位追随機能が損なわれている。

| 写真番号 | ⑯－４ | 損傷の種類 | ⑯ 支承の機能障害 | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 支承本体 | 損 傷 程 度 | e | |
| 他の損傷との関係<br>①腐食 | | | | |
| メモ<br>支承全体に著しい錆が発生しており、支承の機能が損なわれている。 | | | | |

| 写真番号 | ⑯－５ | 損傷の種類 | ⑯ 支承の機能障害 | |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 支承本体 | 損 傷 程 度 | e | |
| 他の損傷との関係 | | | | |
| メモ<br>ゴムが片方に寄った状態であり、変位追随機能など支承の機能が損なわれている。 | | | | |

## ⑰ その他

| 写真番号 | ⑰－１ | 損傷の種類 | ⑰ その他 | 分類1：不法占拠 |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 橋脚壁部 | 損 傷 程 度 | e | |

他の損傷との関係

メモ
橋脚全面に不法占拠の小屋が建てられている。

| 写真番号 | ⑰－２ | 損傷の種類 | ⑰ その他 | 分類2 ： 落書き |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 橋脚壁部 | 損 傷 程 度 | e | |

他の損傷との関係

メモ
橋脚全面に落書きされている。

| 写真番号 | ⑰－３ | 損傷の種類 | ⑰ その他 | 分類3：鳥のふん害 |
|---|---|---|---|---|
| 部 材 名 | 主構トラス | 損 傷 程 度 | e | |

他の損傷との関係

メモ
主構トラス下弦材のハンドホールに鳥の巣が作られている。